

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 3年 10月31日

公表: 令和3年11月30日

事業所名

みのりの杜キッズスクール今泉

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9	0	0	1	静と動の時間を決めてスペースを有効活用している
	2	職員の配置数は適切である	9	0	0	1	職員1名 採用
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	8	1	0	1	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8	1	0	1	毎朝のミーティングを実行し、常に振り返り改善している。また、記録を残すところにより職員同士で情報を共有している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9	0	0	1	今後も定期的にアンケートを実施する
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	2	0	5	アンケート結果、改善計画を公表している
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	1	0	6	第三者による外部評価を実施して、業務改善に繋げていきます
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	2	0	2	職員の研修を年間で計画をして実施している
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	9	0	0	1	子どもと保護者のニーズを聞き取り、計画を作成しています
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	0	0	2	アセスメントシートを使用して、計画作成しています
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	8	1	0	1	月1回、プログラム立案をし、プログラムが重複しないように立案
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10	0	0	0	タブレット学習やリトミック(音楽療法)も新たに取り入れた
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	10	0	0	0	長期休みは、午前、午後に活動を実施
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	10	0	0	0	個々の特性に合わせた計画を作成しています
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	1	0	1	午前10時30分～打合せを実施
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	2	0	1	伝えあい、学びあい、支えあって支援できるように継続していきたい
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10	0	0	0	記録をして、気になる点は会議等で考えているので、検証・改善につなげていく。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	10	0	0	0	定期的にモニタリングを実施して、支援計画の見直しをしています
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	6	0	0	4	自立支援、創作活動、生活支援などの支援を実施しています

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0	0	4	児童発達管理責任者が参加して、会議で情報の共有をしています
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	10	0	0	0	学校と連携は、対面での情報共有、電話での情報収集を実施しています
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	1	0	7	受け入れていない
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	4	0	2	保護者を通して、行政のネットワークの整備が必要と感じる。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5	1	0	4	現段階で、いない
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	3	0	3	随時、様々な研修の参加を検討
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	4	0	3	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0	4	0	6	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10	0	0	0	送迎時など保護者と情報の共有をしています
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	7	1	0	2	発達課題に対し、行動療法を相談しながら取り入れてる
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	10	0	0	0	利用契約時に丁寧に説明をしています
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10	0	0	0	保護者との面接を定期的実施しています
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	4	0	4	開催にむけて準備していましたが、コロナのために中止
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	10	0	0	0	苦情受付担当者・苦情解決責任者を設置しています
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	2	0	3	子どもの活動状況は個別に実施しています
	35	個人情報に十分注意している	10	0	0	0	書庫にて管理し、十分に注意しています
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10	0	0	0	個々の特性に応じて、分かりやすい文章で伝える配慮をしています
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	4	1	5	
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	10	0	0	0	事業所としてのマニュアルにて、周知徹底、都度改善
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10	0	0	0	定期的に毎月1日に避難訓練を実施し、報告書記入
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	0	4	研修の機会を確保しています
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	0	1	5	個別支援計画作成時に職員間で話し合い、必要であれば保護者への説明・書類に捺印を頂きます。現状では、該当者はなし
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	10	0	0	0	保護者の指示のもとに実施し、個々にアレルギー調査票を回収
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	10	0	0	0	事業所内で発生時に、記載して回覧時、捺印をしています